

MITSUBISHI

LD - 30 F T A - 1 A D アナログ入力ボード

形 名	適 用 機 種	備 考
LD - 30 F T A - 1 A D	LD - 30 F T A	テンションコントローラのセンサ入力

用途：LD - 30 F T A 形テンションコントローラを使用して張力制御を行う場合、タッチレバー（ポテンシオメータ）や超音波センサーなどのアナログ電圧系のセンサーにて巻径検出を行いたい時にオプションのアナログ入力ボードを装着します。

装着方法：

- 1) アナログ入力ボードを脱着するときは、必ず LD - 30 F T A 本体の電源を OFF してください。
- 2) LD - 30 F T A 本体のパネルを開けて、端子台の上にあるプリント基板（Z 5 8 1 C 0 7 7 0 1）とフラットケーブルをはずしてください。
- 3) 抜け防止用のスペーサ（付属品）を、LD - 30 F T A の I / O 基板（Z 3 3 1 A 5 3 1 0 4）に挿入してください。（図 2）

注意：使用中にアナログ入力ボードがはずれると、テンションコントローラが誤動作する原因となり、システムに致命的な問題を発生させる場合があります。

したがって、スペーサは必ず装着し、確実に挿入されていることをご確認下さい。

- 4) コネクタ J 1・J 2 の向きに注意して、LD - 30 F T A - 1 A D（図 1）を LD - 30 F T A 本体の I / O 基板（Z 3 3 1 A 5 3 1 0 4）に装着してください。
- 5) プリント基板（Z 5 8 1 C 0 7 7 0 1）とフラットケーブルを元に戻してください。

* 使用方法については、LD - 30 F T A 本体の製品取扱説明書をご覧ください。

1998年2月1日作成
J Z 9 9 0 D 3 0 2 0 1 B

MADE IN JAPAN
三菱電機株式会社 LD-30FTA-1AD

Analog input board

